

第8回京都市ごみ収集業務評価委員会

日時：平成25年3月21日（木）

午後3時30分～午後5時

場所：京都市職員厚生会保養所 職員会館かもがわ 中会議室

報告事項

- 1 平成24年度「京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査」結果について
- 2 「委託事業者に対する収集業務の改善・向上の取組に係る調査」結果について
- 3 本市の取組状況について

協議事項

平成24年度の業務履行に対する評価

〔配布資料〕

- 資料1 京都市ごみ収集業務評価委員会委員名簿
- 資料2－1 「京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査」結果（概要）
- 資料2－2 “ ” （本編）
- 資料3 回答結果の分析（直営と委託の比較）
- 資料4 「委託事業者に対する収集業務の改善・向上の取組に係る調査」結果
- 資料5 まち美化事務所などにおけるごみ減量の取組について
- 資料6－1 実地視察結果について（左京エコまちステーション）
- 資料6－2 “ ” （西京まち美化事務所）

〔参考資料〕

- 参考1 （予算広報）包装紙等の雑がみの分別リサイクル拡大に向けた社会実験について
- 参考2 （広報資料）電子版「資源物回収マップ」の運用開始について
- 参考3 平成23年度の業務履行に対する評価・意見書

京都市ごみ収集業務評価委員会委員名簿

氏 名	役 職 等
たかはし のぶかつ 高橋 宣勝	市民委員
なかい あゆむ 中井 歩	京都産業大学法学部准教授
なかじま じゅんこ 中島 醇子	市民委員
○ ほんだ たきお 本多 滝夫	龍谷大学大学院法務研究科教授
まつもと きみこ 松本 貴美子	市民委員
もりおか たかし 森岡 隆司	市民委員
わたなべ まみ 渡邊 真美	市民委員

(○は委員長，五十音順，敬称略)

◆ 事務局

環境政策局循環型社会推進部まち美化推進課

京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査 <概要>

1 調査目的

本市のごみ収集業務について、市民の皆さまの意識や御意見を把握し、業務の改善に生かすことにより、より満足度の高い市民サービスを実現するため。

2 調査概要

(1) 調査対象

市内全域3,000世帯

まち美化事務所	調査数（世帯）	まち美化事務所	調査数（世帯）
北部	440	西部	550
東部	460	西京	270
山科	350	伏見	450
南部	480		
		合 計	3,000

(2) 調査方法

まち美化事務所の職員が、調査票を直営収集、委託収集、各々の収集区域ごとに無作為に配付し、回収は郵送により実施

(3) 調査期間

平成24年10月上旬～10月31日

※ 平成23年度は、8月上旬～9月9日

(4) 回収状況

回答数 1,340（回収率 44.7%）

※ 平成23年度は、回答数1,300（回収率 43.3%）

平成22年度は、回答数1,274（回収率 42.5%）

(5) 主な調査項目

ア 安全・親切・丁寧で、美しい作業について

「きれいな収集ができているか。」 など

イ 市民対応について

「電話や来所時に、丁寧で、わかりやすい対応ができているか。」 など

ウ ごみの分別や拠点回収に関する意識について

「プラスチック製容器包装の分別は分かりやすいか。」 など

(6) 設問項目一覧

分野	設問
回答者の属性	質問 1 性別・住まいの行政区
	質問 2 年齢
	質問 3 職業
丁寧な作業	質問 4 きれいな収集
	(副問) 「きれい」と感じない理由
	質問 5 ごみの取残し
	(副問) 取残しの理由
	質問 6 不適正な排出ごみ
	(副問) 不適正な排出ごみへのシール貼付
	(副問) 収集できない理由のシールへの記載
	質問 7 安全に配慮した収集
	(副問) 危険と感じた理由
	質問 8 丁寧な作業
	(副問) 良い理由, 悪い理由
安全運転	質問 9 スピードの出し過ぎ, 無理な車線変更
	質問 10 運転マナー
	(副問) 良い理由, 悪い理由
市民サービス	質問 11 声かけ, あいさつ
	質問 12 カラスネット貸与制度の認知度
	(副問) カラスネットの片付け
市民対応	質問 13 まち美化事務所の認知度
	質問 14 エコまちステーションの認知度
	質問 15 電話対応
	質問 16 電話, 来所時の分かりやすい対応
ごみの排出に関する意識	質問 17 収集日以外の排出
市民満足度	質問 18 収集全般における満足度 【新規項目】
ごみの分別や拠点回収に関する意識	質問 19 プラスチック製容器包装の分別のわかりやすさ
	(副問) 分かりにくいと感じる理由
	質問 20 使用済てんぷら油の拠点回収の認知度
	(副問) 利用されない理由
	質問 21 古紙類の排出方法 【新規項目】
	質問 22 雑がみの分別 【新規項目】
	(副問) 分別していない理由 【新規項目】
	質問 23 古着の排出方法 【新規項目】
	質問 24 生ごみの減量に関する家庭での取組 【新規項目】
その他	質問 25 ごみ分別や減量に関する情報の入手方法
	質問 26 自由意見

3 調査結果の経年比較

* 前年度比の増減により、以下のとおりマーキングしている。

0～5%未満：→， 5～10%：↗または↘， 10%以上：↗または↘

	21年度	22年度	23年度	24年度
(質問4) きれいに収集ができていますか。 【できている・おおむねできている】	96%	→ 97%	→ 97%	→ 98%
(質問5) タ方4時以降にごみが残っていたことがあるか。 【ない・ほとんどない】	83%	→ 85%	→ 87%	→ 87%
(質問7) 収集作業中に危ないと感じたことがあるか。 【ない・ほとんどない】	88%	→ 90%	→ 89%	→ 89%
(質問8) 収集作業の丁寧さは。 【良い・おおむね良い】	49%	→ 48%	→ 45%	↗ 80%
(質問9) スピードの出し過ぎ、無理な車線変更を見たことがあるか。 【ない・ほとんどない】	59%	→ 63%	→ 65%	→ 66%
(質問10) 運転マナーは良いか。 【良い・おおむね良い】	31%	↗ 38%	→ 35%	↗ 64%
(質問11) 収集員は声かけ、あいさつをしているか。 【している・おおむねしている】	18%	→ 19%	→ 21%	→ 22%
(質問12) カラスネット貸与制度を知っているか。 【知っている・知っているが、使用していない】	48%	↗ 65%	↗ 70%	↗ 76%
(質問12-2) カラスネットを片付けているか。 【できている・おおむねできている】	21%	↗ 53%	→ 56%	↗ 76%
(質問13) まち美化事務所を知っているか。 【知っている・名前は知っている】	55%	→ 53%	→ 54%	→ 53%
(質問14) エコまちステーションを知っているか。 【利用したことがある・名前は知っている】	↘	23%	→ 26%	→ 30%
(質問15) 電話に出た職員は、名前を名乗っていたか。 【名乗っていた・おおむね名乗っていた】	50%	→ 54%	↗ 64%	↘ 54%
(質問16) 職員は丁寧で分かりやすい対応ができていたか。 【丁寧で分かりやすかった・おおむね分かりやすかった】	62%	↗ 67%	→ 68%	→ 64%
(質問17) 収集日以外にごみが出されていることがあるか。 【ない・ほとんどない】	67%	→ 66%	→ 65%	→ 66%
(質問18) 収集全般について満足しているか。【新規項目】 【満足している・おおむね満足している】	↘	↘	↘	94%
(質問20) 使用済てんぷら油の拠点回収を知っているか。 【利用している・知っているが利用していない】	76%	→ 76%	↗ 85%	↘ 79%
(質問21) 古紙類はどのように排出しているか。【新規項目】 【地域の集団回収（コミュニティ回収）に出している・古紙回収業者に出している】	↘	↘	↘	92%

※ 質問8・10は、24年度から「昨年と比べて良いか」という前年度と比較する問いから見直しをしたため、数値が大きく上昇している。

※ 質問12-2は、質問12の副問に見直しをしたため、数値が大きく上昇している。

※ 質問15は、まち美化事務所・エコまちステーションに電話をしたことがある方のうち、「名乗っていた・おおむね名乗っていた」と回答した方の割合

※ 質問16は、職員と話したことがある方のうち、「分かりやすかった・おおむね分かりやすかった」と回答した方の割合

4 主な回答結果

(1) 回答者の属性					
【質問1】	性別	女性	73.3%	【質問3】 職業	
	男性		24.4%		
	無回答		2.3%		
【質問2】 年齢					
※ 属性については、昨年度と比べ大きな違いはない					
(2) 丁寧な作業					
【質問4】 きれいなごみ収集作業が、「できている」、「おおむねできている」が98%（昨年度97%）					
きれいなごみ収集作業が「できていない」、「ほとんどできていない」は1%（昨年度2%）で、昨年同様に評価が高い項目であった。きれいと感じない主な理由は、「収集場所に落ちているごみはそのまま」等であった（質問4副問）。					
【質問7】 ごみ収集作業による通行の妨げや危険を感じたことは、「ない」、「ほとんどない」が89%（昨年度89%）					
危険を感じたことが、「よくある」、「時々ある」は、6%（昨年度6%）で、ごみの積み込み作業の粗雑さや「スピードの出し過ぎ」など運転に関する事項が主な理由であった（質問7副問）。					
【質問8】 ごみ収集作業の丁寧さについて、「良い」、「おおむね良い」が80%					
良いと感じる主な理由は、「収集後の散乱がないこと（散乱しても後処理をする）」や「積みみの丁寧さ」、「収集後カラスネットがきちんと片付けられている」等であった（質問8副問）。一方、「悪い」、「やや悪い」は3%であり、その主な理由は、「収集後に散らかったごみをそのままにしておく」等であった。（質問8副問）。					
(3) 安全運転					
【質問9】 スピードの出し過ぎや無理な車線変更等の運転を見たことが、「よくある」、「時々ある」が22%（昨年度27%）					
スピードの出し過ぎ等を見たことが、「ない」、「ほとんどない」は66%（昨年度65%）であった。					
【質問10】 運転マナーについて、「良い」、「おおむね良い」が64%					
良いと感じる主な理由は、「運転が丁寧」や「歩行者への配慮が感じられる」等であった。一方、「悪い」、「やや悪い」は13%で、その主な理由は、「スピードの出し過ぎ」、「乱暴な運転」等であった（質問10副問）。					
(4) 市民サービス					
【質問11】 作業員は集積所で声かけ、あいさつを「している」、「おおむねしている」が22%（昨年度21%）					
作業員による集積所での声かけ、あいさつについては、「職員に会ったことがない」が28%となっている。					

【質問12】 「カラスネットの貸与制度を知っている」が76%（昨年度70%）				
貸与制度については、「知らない」は22%（昨年度28%）であり、認知度は高まってきている。				
【質問12-2】 カラスネットの片付けが、「できている」、「おおむねできている」が76%（昨年度56%）				
片付けが、「できていない」、「ほとんどできていない」は8%（昨年度7%）であり、昨年度に引き続き一定の評価をいただいている。				
(5) 市民対応				
【質問13】 「まち美化事務所の所在地を知っている、名前は知っている」が53%（昨年度54%）				
まち美化事務所の所在地を「知らない」は46%（昨年度44%）であった。				
【質問14】 「エコまちステーションを知らない」が69%（昨年度72%）				
「エコまちステーションを利用したことがある」は9%、「名前のみ知っている」は21%であった。				
【質問16】 「まち美化事務所・エコまちステーションに電話や来所をしたことがない」が65%（昨年度72%）				
職員と話した市民の64%が、対応は「丁寧で分かりやすかった」、「おおむね分かりやすかった」と回答				
(6) 市民満足度				
【質問18】 ごみ収集作業全般に、「満足している」、「おおむね満足している」が94%（新規）				
ごみ収集作業全般に、「満足していない」、「ほとんど満足していない」は3%であった。				
(7) ごみの分別や拠点回収に関する意識				
【質問19】 「プラスチック製容器包装の分別は分かりやすいと感じている」が65%（昨年度63%）				
分別の仕方については、「分かりにくい」は23%（昨年度27%）であった。その主な理由は、「プラスチック製容器包装として排出できるごみの分別が分かりにくい」等であった（質問19副問）。				
【質問21】 古紙類は「地域の集団回収（コミュニティ回収）に出している」と「古紙回収業者に出している」を合わせて92%（新規）				
「燃やすごみ袋に入れている」は、5%であった。				
【質問22】 雑がみを「分別している」が63%（新規）				
【質問24】 生ごみの減量に、ごみを出す前に水を切る「水キリ」をしているが34%（新規）				
生ごみの減量に、買った食材を使い切る「使いキリ」をしているのは26%、食べ残しをしない「食べキリ」をしているのは28%であった。				
(8) 自由意見				
【質問26】（収集に関して）				
・ ごみ収集時間を一定の時間にしてもらえないのか（運転に関して）				
・ 収集車の運転マナーが悪い				
・ スピードの出しすぎ（有料指定袋制度、分別に関して）				
・ 有料指定袋が高い				
・ 家庭ごみと資源ごみをそれぞれ分別する意味はあるのか（その他）				
・ 職員について（丁寧に収集してもらい感謝している。など）				
・ ごみの出し方の市民啓発にもっと力を入れるべき				

(回答結果の詳細分析)

1 収集に関する設問における直営と委託の比較

*各質問のうち、最も多い回答に網掛けをした。

質問4 居住地域のごみ収集 作業はきれいにできて いるか。		できている	おおむねでき ている	ほとんどでき ていない	できていない	分からない	無回答
	委託	64.1%	32.8%	1.3%	1.0%	0.5%	0.3%
	直営	60.4%	38.0%	0.6%	0.6%	0.3%	0.0%
質問5 収集日の午後4時以 降に、ごみが残ってい たことがあるか。		ない	ほとんどない	時々ある	よくある	分からない	無回答
	委託	64.7%	19.8%	11.3%	1.5%	0.8%	1.8%
	直営	68.7%	18.6%	8.8%	0.6%	0.8%	2.4%
質問5-2 「質問5」の理由		収集できない ものの排出	分別不十分	収集後の排出	分からない		
	委託	42.0%	13.0%	33.3%	11.6%		
	直営	37.2%	24.1%	24.8%	13.8%		
質問6-2 取残しのごみに啓発 シールが貼ってあった か。		貼ってある	貼ってない	分からない			
	委託	53.6%	19.7%	26.8%			
	直営	51.1%	25.2%	23.7%			
質問6-3 啓発シールに収集し なかった理由が書かれ ていたか。		書かれていた	書かれてい なかった	覚えていない			
	委託	54.0%	10.5%	35.5%			
	直営	51.8%	7.4%	40.8%			
質問7 ごみ収集作業によ り、通行の妨げや危険 を感じたことがある か。		ない	ほとんどない	時々ある	よくある	分からない	無回答
	委託	51.0%	36.5%	4.7%	0.3%	5.4%	2.1%
	直営	54.9%	35.0%	5.8%	0.1%	2.6%	1.6%
質問8 ごみ収集作業の丁寧 さについて、どのよう に思うか。		良い	おおむね良い	やや悪い	悪い	分からない	無回答
	委託	38.6%	39.6%	1.8%	0.5%	18.1%	1.3%
	直営	37.5%	43.3%	2.9%	0.3%	13.7%	2.3%
質問9 京都市のごみ収集車 のスピード超過や無理 な車線変更等を見たこ とがあるか。		ない	ほとんどない	時々ある	よくある	分からない	無回答
	委託	38.7%	25.7%	18.2%	2.3%	13.0%	2.1%
	直営	37.7%	28.7%	18.1%	4.7%	8.5%	2.4%
質問10 運転マナーについ て、どのように思う か。		良い	おおむね良い	やや悪い	悪い	分からない	無回答
	委託	24.9%	36.0%	8.8%	1.3%	24.9%	4.1%
	直営	24.7%	39.6%	11.8%	2.9%	18.1%	2.9%
質問11 作業員は、収集作業 中に自分から声かけや あいさつをしている か。		している	おおむねして いる	ほとんどして いない	していない	職員に会った ことがない	無回答
	委託	10.9%	16.0%	25.1%	14.0%	28.9%	5.2%
	直営	7.2%	12.3%	28.0%	21.7%	27.0%	3.8%
質問12-2 作業員は、収集後に カラスネットを通行の 妨げにならないよう片 付けているか。		できている	おおむねでき ている	ほとんどでき ていない	できていない	分からない	
	委託	41.4%	35.9%	2.7%	2.7%	17.3%	
	直営	40.5%	35.2%	6.1%	3.1%	15.1%	
質問18 収集全般について満 足しているか。		満足している	おおむね満 足している	ほとんど満足 していない	満足していな い	無回答	
	委託	32.2%	62.1%	1.8%	0.8%	3.1%	
	直営	33.2%	60.1%	2.0%	1.4%	3.4%	

2 アンケート・セルフチェック比較表と今後の取組

セルフチェック項目 (基本項目)		アンケート 設問内容	セルフチェック結果 (3. できている～0. できていない で評価)							アンケート調査結果 (23年度) (24年度)				備考 (分析)	今後の取組
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	できている おおむねできている	直営	97%	98%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでも、収集作業はきれいにできている・おおむねできているという回答が97％以上を占めたことから、市民の意識との差異はあまり見られない項目であった。	おおむねできているとの評価をいただいている項目であり、今後市民の皆様にもさらに満足していただけるよう努めていく。	
			直営	2.7	2.7	2.7	2.6	2.7	委託	97%	97%	97%			
			委託	2.8	2.9	2.9	3.0	2.9	2.8	直営	2%	1%	1%		
			委託	2.8	2.9	2.9	3.0	2.9	2.8	委託	2%	2%	2%		
収集中、ごみが散乱しないよう注意しているか。			直営	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	直営	87%	87%	87%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでも、夕方4時以降になってもごみが残っていることがない・ほとんどないとの回答が85％以上を占めた。また、設問5の副問から、夕方4時以降にごみが残っている理由としては、収集できないものの排出・分別が不十分・ごみ収集後の排出という回答が87％を占めており、収集漏れのない確実な収集及び適切な時間帯の収集ができていると考えられる。	
			委託	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	委託	10%	9%		9%
収集漏れのないよう収集されているか。			直営	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	直営	87%	87%	87%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでも、夕方4時以降になってもごみが残っていることがない・ほとんどないとの回答が85％以上を占めた。また、設問5の副問から、夕方4時以降にごみが残っている理由としては、収集できないものの排出・分別が不十分・ごみ収集後の排出という回答が87％を占めており、収集漏れのない確実な収集及び適切な時間帯の収集ができていると考えられる。	
			委託	2.9	2.8	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	委託	9%	9%		13%
袋違いへの貼付			直営	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	直営	—	—	48%	セルフチェックでは直営と委託で、不適正シールの貼付に対する評価に若干の差異があるが、アンケート設問6－2の結果では、貼ってあるという回答が直営と委託で差異はないことから、貼付状況については直営と委託の双方が同じ水準で啓発を行っていると考えられる。	
			委託	2.7	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.8	委託	—	—		45%
分別不十分への貼付			直営	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.3	直営	—	—	51%	セルフチェックでは直営と委託で、不適正シールの貼付に対する評価に若干の差異があるが、アンケート設問6－2の結果では、貼ってあるという回答が直営と委託で差異はないことから、貼付状況については直営と委託の双方が同じ水準で啓発を行っていると考えられる。	
			委託	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.7	2.7	直営	—	—		51%
不適正シールの貼付の徹底及び周知			直営	2.3	2.3	2.4	2.4	2.3	2.4	直営	—	—	54%	セルフチェックでは直営と委託で、不適正シールの貼付に対する評価に若干の差異があるが、アンケート設問6－2の結果では、貼ってあるという回答が直営と委託で差異はないことから、貼付状況については直営と委託の双方が同じ水準で啓発を行っていると考えられる。	
			委託	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.7	2.7	委託	—	—		54%
作業中、他の車両や歩行者の妨げになったり、危ないと感じたことはあるか。 (周囲の安全配慮は行えているか。)			直営	2.8	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	直営	88%	90%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでも、ない・ほとんどないという回答が88％以上を占めたことから、市民の意識との差異があまり見られない項目であった。	おおむねできているとの評価をいただいている項目であり、今後市民の皆様にもさらに満足していただけるよう努めていく。	
			委託	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.7	2.7	委託	5%			5%
(安全運転)			直営	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	直営	64%	66%	デジタルタコグラフの導入により、直営・委託ともに運転手の運転マナー向上を図っているところである。	デジタルタコグラフの導入により、直営・委託ともに運転手の運転マナー向上を図っているところである。	
無理な追い越し、割り込み、車線変更をしていないか。			直営	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	直営	68%	64%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートではスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転をされたことと考えるが、依然としてスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転を見たことがよくある・時々あるという意見が21％以上あることから、今後も引き続き改善が必要である。	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートではスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転をされたことと考えるが、依然としてスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転を見たことがよくある・時々あるという意見が21％以上あることから、今後も引き続き改善が必要である。	
			委託	2.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	直営	28%			23%
(丁寧な作業)			直営	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8	直営	24%	21%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートではスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転をされたことと考えるが、依然としてスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転を見たことがよくある・時々あるという意見が21％以上あることから、今後も引き続き改善が必要である。	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートではスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転をされたことと考えるが、依然としてスピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転を見たことがよくある・時々あるという意見が21％以上あることから、今後も引き続き改善が必要である。	
作業員は市民に対し、あいさつや声かけができているか。			直営	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	直営	20%	20%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しているが、声かけやあいさつをしている・概ねしているという回答は20％程度であった。これは、職員に会ったことがない方や、会ったことがある方の中でも収集作業の場所から離れた場所での職員の作業状況を見た方も含まれているため、低い数字になっていると思われる。	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートでは、あいさつを交わしているという回答は30％程度であり、まだ改善の余地があると考えられる。	
			委託	2.9	3.0	2.9	3.0	3.0	3.0	3.0	直営	45%			50%
カラスネットについて、通行の妨げにならないように片付けられているか。			直営	2.6	2.7	2.7	2.6	2.6	2.6	直営	57%	76%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートでは、カラスネットを使用しているという回答が76％以上を占め、市民の意識との差異が生じておらず、カラスネットの片付けが職員の意識に定着してきたと思われる。	セルフチェックでは、おおむねできていると評価している。アンケートでは、カラスネットを使用しているという回答が76％以上を占め、市民の意識との差異が生じておらず、カラスネットの片付けが職員の意識に定着してきたと思われる。	
			委託	2.7	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	直営	6%			9%
(市民対応)			直営	2.9	2.8	2.9	2.8	2.8	2.8	直営	69%	64%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでもまち美化事務所に来所又は電話をされたことがある方については、「分かります」「普通」という回答が86％を占めた。	セルフチェックでは、まち美化事務所に来所又は電話をされたことがある方については、「分かります」「普通」という回答が86％を占めた。	
事務所職員は、分かりやすく丁寧な対応ができているか。			直営	2.9	2.8	2.9	2.9	2.8	2.8	直営	—	64%	セルフチェックでは、おおむねできていると評価しており、アンケートでもまち美化事務所に来所又は電話をされたことがある方については、「分かります」「普通」という回答が86％を占めた。	セルフチェックでは、まち美化事務所に来所又は電話をされたことがある方については、「分かります」「普通」という回答が86％を占めた。	
			委託	2.7	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	直営	—			22%

委託事業者に対する収集業務の改善・向上の取組に係る調査結果

1 目的

委託事業者における収集業務の改善・向上の取組について調査し、有効な取組については、他の事業者へ推奨や直営の業務に取り入れ、また必要に応じて改善指導を行うためことを目的として実施

2 対象

委託事業者 3 社を対象に実施

3 方法

4 の調査項目について委託事業者の管理者から聞き取り調査（ヒアリング）を実施

4 調査項目

- (1) 安全作業・安全運転について
 - ア 研修の年間スケジュール
 - イ 採用時の研修プログラムなど
 - ウ 収集員や運転手間での安全作業・安全運転に係る取組の実施状況
 - エ デジタルタコグラフの活用方法
 - オ 交通事故発生時の対応手順（連絡体制などを含む）
 - カ 事故や苦情があった場合の当該運転手に対する対応と全体への対応方法
- (2) 市民対応について
 - ア 市民対応に係る取組の実施状況
 - イ 市民からの苦情対応

5 調査結果（* 有効な取組と思われるものについては、下線を引いている。）

(1) 安全作業・安全運転について

ア 研修の年間スケジュール

【共通】 予め年間の研修計画を作成し、その計画に基づき研修を実施している。

（個別）

- ・安全作業に対する危険予測を実施
（収集作業中に起こりうる危険な状況を予測し、その防止策を考える。）
- ・熱中症の予防と発生した際の対応に関する研修（夏期）
- ・AEDの使用に関する研修
- ・消防署指導の下での車両火災時の対応に関する研修
- ・チェーン装着，雪道走行などの積雪時の対応に関する研修（冬期）
- ・機械操作，積み込み方法，収集場所確認などに関する研修
- ・京都市の分別ルール，ごみの排出方法（収集品目，対処品目等）に関する研修
- ・一般廃棄物に関することを含めた廃棄物処理法等関係法令に関する研修
- ・車両の油類漏れなどの対応訓練

イ 採用時の研修プログラムなど

【共通】 基本的な部分を中心にマニュアルなどを活用しながら、OJTでフォローしている。

(個別)

- ・ 交通事故発生時のための緊急時におけるマニュアルを使った研修
- ・ 業務のフローチャートを用いての研修
- ・ 京都市の業務に対応した自社で作成の安全マニュアルで指導し、その後実地研修を行う。
- ・ 上司が評価表を用い、新規採用者の研修の受講状況を評価し、理解度の確認を行う。
- ・ 研修で補うことのできない部分はOJTでフォローしている。

(運転に関すること)

- ・ 運転手採用時には自動車教習所での運転技術に関する適正検査を実施
- ・ 車両を用いて実際の収集コースを走行し、その記録を複数（同乗した指導者及び研修責任者）で内容を確認する。
- ・ 運転手は収集業務を経験させたうえで、収集員から昇格させている。
(特殊車両（パッカー車）を扱うため、収集員としての収集業務に関する経験を必要とするから)

(その他)

- ・ 社内の規程で運転手、収集員等を資格を要する業務とし、その基準を満たした者に当該業務に従事させる。

ウ 収集員や運転手間での安全作業に係る取組の実施状況

【共通】 収集員、運転手ともに情報共有するようにしている。

(個別)

- ・ 日々の会話やコミュニケーションの中で、細かなミス（ヒヤリ・ハットなど）を吸い上げて、大きな事故を起こさないようにする。
- ・ 運転手のヒヤリ・ハットの場所は、当該場所の写真を撮り、簿冊にまとめて全員に周知
- ・ 作業終了後の報告書提出時にその日の収集業務における危険箇所などの聞取りを行っている。
- ・ 京都市からの指示・指導については翌朝のミーティングで周知徹底している。
- ・ 委託については配車先のまち美化事務所単位でミーティングを行っている。
- ・ ミーティングは運転手と収集員合わせて行う。
- ・ 安全標語を作成
- ・ 安全衛生委員会を毎月実施

エ デジタルタコグラフの活用方法

「デジタルタコグラフ」とは…

各車両に搭載した車載機器で、速度、エンジン回転数、加速減速状況等の運行状況を記録し、これを各事務所に配備した解析システムで確認分析するもの。

また、GPSによる位置情報と組み合わせることができ、走行軌跡を記録することも可能。

- ・ 帰社後に毎日運転手が運行管理者と共にデジタルタコグラフで自己の走行を確認し、運行管理者が指導を行う。
- ・ 急発進、急減速していないかを確認している。
- ・ デジタルタコグラフの結果を活用しての指導が多くある運転手については、1箇月単位で個別の面談を実施

オ 交通事故発生時の対応手順(連絡体制等を含む)

- ・ 交通事故発生時等の緊急時におけるマニュアルを作成し、パッカー車に積んでいる。

カ 事故や苦情があった場合の当該運転手に対する対応と全体への対応方法

【共通】 収集員、運転手全員に対して発生の状況や原因を周知し、再発の防止を図っている。

(個別)

- ・朝礼で周知している。
- ・運転手が原因の事故等の場合は全体会議で報告した後、全運転手でミーティングを実施
- ・デジタルタコグラフを見ながら当該運転手との面談を行い、原因を確認にする。
- ・当事者が事故報告書を作成することで、本人に状況や原因を振り返らせながら記入させる。併せて管理職もコメントを記入している。
- ・月ごとにまとめ、ミーティングでスライド等を使って、本人又は管理職が事故報告を行い、再発防止のために反復している。

キ その他

- ・ドライブレコーダーを全パッカー車に装備しており、事故等の際に相手方と申出が異なる場合に非常に役に立ち、運転手も自分がきっちり運転すれば大丈夫という安心感につながっている。
- ・異音、異臭は気をかけながら、速やかに責任者に報告するようにしている。

(2) 市民対応について

ア 市民対応に係る取組の実施状況

- ・市民に対するあいさつを励行している。
- ・苦情の際のやりとりの訓練をしている。
(収集作業中の市民からの苦情を想定し、収集員役と市民役に分かれ実演することで実際にどう対応するべきか訓練を行う。)
- ・市民対応マナーに関する研修(京都市の業務を念頭においた研修プログラム)を実施

イ 市民からの苦情対応について

- ・収集での苦情・要望についてはまち美化事務所に連絡するようにし、内容については社内で共有し、業務改善につなげるようにしている。
- ・朝礼で周知している。
- ・苦情についても事故報告と同じ様式に記入し、報告している。

(3) その他

- ・ヒヤリハットなどを減らすことが死亡事故など重大な事故を引き起こさないことにつながる
と考え、業務中のミスについては積極的に報告できるような雰囲気づくりをしている。
- ・チェックリストが義務的になっている傾向にある。
- ・月1回管理職から業務を高く評価された社員を表彰することで、管理者が社員を評価(推薦)するために日々業務の履行状況を見ることにつながっている。

6 調査結果から

上記の結果について、その他委託事業者に対して収集業務の改善・向上のため情報共有を行っていく。

情報の共有化を行うことで、委託事業者間においても一層の業務改善と市民サービスの向上を目指し、京都市の収集業務全体の底上げを図っていく。

(参考1) ごみ収集業務改善実施計画における民間委託化の進捗状況

(単位：台)

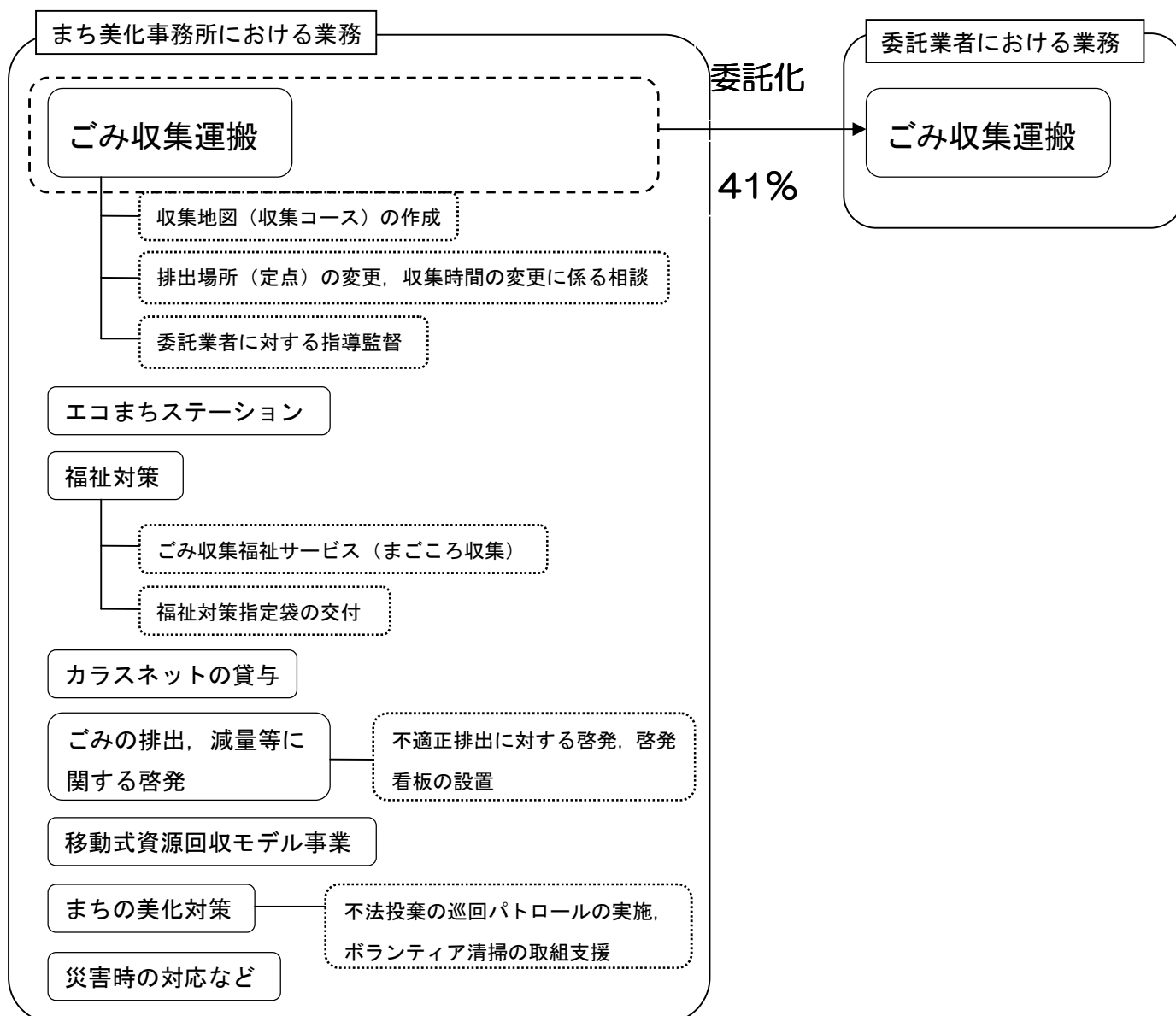
	18年5月※1	20年4月※2	22年4月	23年4月	24年4月
直営	129	81	67	67	62
庸車	92	85	80	76	73
委託	37	34	45	49	54
計	258	200	192	192	189
委託化率※3	26%	31%	37%	38%	41%

※1 「信頼回復と再生のための抜本改革大綱」策定（平成18年8月）以前の数値

※2 「京都市ごみ収集業務改善実施計画」策定（平成20年12月）以前の数値

※3 委託化率は、作業人員のうち、委託人員（庸車運転手を含む。）が占める割合

(参考2) まち美化事務所における業務



まち美化事務所などにおけるごみ減量の取組について

1 ごみ量について

(1) 家庭ごみ量の推移の状況

	12年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
年間量(万トン)	34.5	25.6	24.8	24.4	24.1	24.2
対前年度比	-	△11%	△3%	△2%	△1%	+0.3%
対ピーク時 (12年度)比	-	△26%	△28%	△29%	△30%	△30%

(2) ごみ量減少による効果

これまでのごみ減量の成果として、耐用年数を迎えた東部クリーンセンターを25年1月に休止し、クリーンセンターの建設費約400億円、年間運営費約8億円の、大幅な経費削減を図った。

(参考) ごみ処理原価(平成22年度決算ベース)

【45リットルごみ1袋当たり処理原価】

燃やすごみ	297円
缶・びん・ペットボトル	389円
プラスチック製容器包装	235円

2 ごみ減量の取組

(1) まち美化事務所での古紙・古着回収の開始

ア 回収開始時期

- ・古着・・・平成23年11月
- ・古紙・・・平成24年8月

イ 古紙・古着回収量推移(まち美化事務所合計)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
回収量(kg)	2,310	3,620	3,800	2,370	2,250	2,860	3,440	5,431	7,245	1,768

(2) 区役所・支所での古紙・古着回収の開始

ア 回収開始時期 平成24年8月

イ 回収日 別紙参照(市民しんぶん全市版12月号と同時期に全市回覧)

ウ 古紙・古着回収量推移(エコまちステーション合計)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
回収量(kg)	200	1,200	4,000	4,969	9,895	4,072

(3) マーケット回収の実施

ア 実施団体募集開始 平成24年7月

イ 認定団体

開始時期	実施団体	回収場所	回収日時	回収品目
平成24年 11月	社団法人 京都ボランティア協会	生鮮館なかむら 下鴨店	第1・3木曜 9時～13時	古紙・古着
平成24年 12月	中京区 身体障害者団体連合会	B i v i 二条	第2・4木曜 10時～14時	古紙・古着
	NPO法人 加音	ケーヨーデイツ ー嵯峨店	第2・4水曜 13時～17時	古紙・古着
	NPO法人 らくさいけあーねっと	境谷センター	第1・3水曜 12時～16時	古紙・古着 缶類
平成25年 3月	NPO法人 京都市肢体障害者協会	ダイエー桂南店	第2・4火曜 10時～14時	古紙・古着

(4) 雑がみ保管袋の作成配布

ア 作成部数 10万部

イ 配布時期 平成24年8月（配布部数56,443部 平成25年1月末現在）

(5) 移動式資源回収の実施

回収実績(平成25年1月末現在)

			平成24年度		平成23年度(参考)	
			合計(58回)	平均(対前年度比)	合計(20回)	平均
来場者数(人)			4,942	85.2 (+53%)	1,113	55.7
回収量合計(kg)			50,945.0	878.4 (+90%)	9,253.2	462.7
回収品目(kg)	新たに回収した品目	1 石油類	⑥ 2,982.4	51.4 (+19%)	865.2	43.3
		2 医薬品・農薬	1,082.2	18.7 (+405%)	73.8	3.7
		3 化学薬品・塗料・ワックス・絵の具	⑧ 2,583.4	44.5 (+101%)	442.9	22.1
		4 洗剤	828.7	14.3 (+74%)	164.5	8.2
		5 中身の入ったカセットボンベ・スプレー缶	⑦ 2,887.5	49.8 (+59%)	624.4	31.2
		6 せん定枝	⑤ 3,043.7	52.5 (+120%)	477.9	23.9
		7 陶磁器製の食器	② 7,652.6	131.9 -	-	-
	従来から拠点で回収している品目	8 てんぷら油	988.7	17.0 (+34%)	254.6	12.7
		9 蛍光管	731.2	12.6 (+15%)	218.6	10.9
		10 乾電池	⑨ 1,654.2	28.5 (+37%)	416.5	20.8
		11 リュースびん	927.5	16.0 (+9%)	292.9	14.6
		12 紙パック	74.8	1.3 (+43%)	18.1	0.9
		13 古紙類	③ 5,980.9	103.1 (+83%)	1,129.9	56.5
		14 雑がみ	1,363.1	23.5 (+196%)	158.8	7.9
		15 古着類	① 11,736.5	202.4 (+75%)	2,199.9	115.8
		16 ボタン電池	7.0	0.1 (+190%)	0.8	0.0
		17 充電式電池	60.4	1.0 (+542%)	3.2	0.2
		18 小型家電	⑩ 1,461.9	25.2 (+18%)	428.1	21.4
		19 記憶媒体類	④ 4,481.7	77.3 (+12%)	1,383.0	69.2
		20 刃物類	205.5	3.5 (+48%)	47.9	2.4
		21 インクカートリッジ	51.0	0.9 (+40%)	12.6	0.6
		22 水銀体温計・水銀血圧計	18.0	0.3 (+1116%)	0.5	0.0
		23 使い捨てライター	142.2	2.5 (+26%)	39.0	2.0

※丸囲み数字は回収量上位10品目の順位である。

※品目1～4は、内容物の重量(推定値)である。

※平成23年度における品目22の対象は、水銀体温計のみで水銀血圧計を含まない。

紙ごみ減量にご協力をお願いします!!



この事業は
家庭ごみの有料
指定袋収入が
使われています



ピーク時(平成12年度)以降減少していた京都市内の家庭ごみの排出量が、昨年度初めて増加しました。
①温室効果ガスの削減により、次の世代に美しい京都を引き継ぎ、②ごみ処理に掛かる経費を削減するため、
ごみの減量にご協力をお願いします。今後、ごみが増え続け、新たにクリーンセンターを整備しなければなら
なくなった場合、建設費に400億円、運営費に毎年8億円が必要になります。このような経費の増加は何とし
ても回避しなければなりません。皆様のご協力をお願いします。

ごみの減量、分別、リサイクルに関することは、区役所・支所に設置している **エコまちステーション**(裏面参照)
までお気軽にご相談ください。

●家庭ごみの約3割は紙ごみです。

新聞、雑誌、ダンボール以外の紙製品(包装紙、紙袋、はがきなど)も「**雑がみ**」と呼ばれ、リサイクルが可能です。

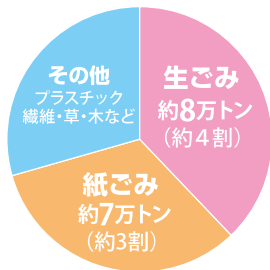
雑がみを含む古紙類は、**自治会やマンションなどの集団回収(コミュニティ回収)**や、**巡回している民間回収業者に出してください**。また誰もが気軽に出せるよう、下表のとおり **区役所・支所でも古紙と古着の回収を始めました**。

回収場所	回収日時	回収日時		回収場所	回収日時	回収日時	
		12月	1月			12月	1月
◎ 北区役所 (保健センター駐車場)	第1・3水曜 10時～14時	5日 19日	16日	◎ 南区役所 (エコまちステーション)	第2・4火曜 9時～13時	11日 25日	8日 22日
◎ 上京区役所 (エコまちステーション)	第2・4水曜 8時半～12時	12日 26日	9日 23日	◎ 右京区役所 (南側入口付近)	第1・3火曜 10時～14時	4日 18日	15日
◎ 左京区役所 (検診車駐車スペース)	月1回(2/12,3/12) 10時～14時	18日	8日	◎ 西京区役所 (立体駐車場)	第2・4水曜 10時～14時	12日 26日	9日 23日
◎ 中京区役所 (西側岩上通側)	第1水曜 10時～14時	5日		◎ 洛西支所 (西側駐車場)	第2・4水曜 10時～14時	12日 26日	9日 23日
◎ 東山区役所 (エコまちステーション)	第1・3水曜 10時～14時	5日 19日	16日	◎ 伏見区役所 (エコまちステーション)	第4木曜 13時～16時	27日	24日
◎ 山科区役所 (エコまちステーション)	第1・3水曜 9時～12時	5日 19日	16日	◎ 深草支所 (エコまちステーション)	第2・4水曜 13時～16時	12日 26日	9日 23日
◎ 下京区役所 (エコまちステーション)	第1・3木曜 10時～14時	6日 20日	17日	◎ 醍醐支所 (駐車場南側)	第2・4水曜 9時～12時	12日 26日	9日 23日

【回覧】 この事業は家庭ごみの有料指定袋収入が使われています。

(裏面もご覧ください。)

●家庭ごみの約4割は生ごみです。



- ①使いキリ 食材を必要な分だけ買い,ムダなく活用しましょう。
 - ②食べキリ 残り物の上手な保存などで,残さず食べましょう。
 - ③水キリ 生ごみの約8割を占める水分をできるだけ切りましょう。
- ※電動式生ごみ処理機やコンポスト容器の購入費用の半額助成制度もあります。
詳しくはエコまちステーションまで

●区役所・支所(エコまちステーション)などでは以下の資源物を回収しています。

回 収 品 目			区役所・支所 (エコまちステーション)	まち美化事務所	上京リサイクル ステーション
			8時半～17時 (土・日・祝・ 年末年始除く)	9時～16時 (土・日・ 年末年始除く)	9時～17時 (年末年始除く)
①てんぷら油 (植物用油) 	②蛍光管 	③リユースびん (一升びん,ビールびん) 			
④乾電池 	⑤紙パック 	⑥ボタン電池 ※セロテープで絶縁 してください。	○	○	○
⑦充電式電池	⑧小型家電 (携帯電話, 電卓など 15cm×25cm以下 のものに限る)	⑨記憶媒体類 (ビデオテープ, CD, フロッピーなど) ※一度の持込は100本 以内			
⑩インクカートリッジ	⑪水銀体温計	⑫使い捨てライター			
⑬古紙類 (新聞,雑誌, ダンボール,雑がみ) 	⑭古着類 ※一度の持込は45リットルの袋で5袋以内 ※袋は指定袋を使用する必要はありません。 		回収日は 表面参照	○	○
⑮刃物類(はさみ,包丁など)				○	○

●お問合せ(区役所・支所内エコまちステーション)

北エコまちステーション 366-0155	南エコまちステーション 366-0188
上京エコまちステーション 366-0776	右京エコまちステーション 366-0190
左京エコまちステーション 366-0821	西京エコまちステーション 366-0192
中京エコまちステーション 366-0180	洛西エコまちステーション 366-0194
東山エコまちステーション 366-0182	伏見エコまちステーション 366-0196
山科エコまちステーション 366-0184	深草エコまちステーション 366-0198
下京エコまちステーション 366-0186	醍醐エコまちステーション 366-0311



京都市ごみ収集業務評価委員会 実地視察（左京エコまちステーション）について

- 1 日 時 平成24年10月24日（水）
午前9時30分～午前11時30分
- 2 場 所 左京区役所ほか（左京エコまちステーション，紫明小学校等）
- 3 出席者 （敬称略 五十音順）
 委員 高 橋 宣 勝（市民委員）
 “ 中 島 醇 子（市民委員）
 委員長 本 多 滝 夫（龍谷大学大学院法務研究科教授）
 委員 松 本 貴美子（市民委員）
 “ 森 岡 隆 司（市民委員）
- 4 内 容 (1) エコまちステーションの見学及び職員との意見交換
(2) 移動式資源回収モデル事業の視察

5 エコまちステーション職員との意見交換会での主な意見

（○委員意見，●エコまちステーション回答）

○エコまちステーションの存在は大変良い。どうしてもまち美化事務所は不便なところにあるが，エコまちステーションは各区役所・支所内にあって良かった。

エコまちステーションでは市民対応が親切で質問にきっちり答えてもらえる。また，市民が少しでもごみに関することを知ることができる場である。

○まち美化事務所が主に収集を担当しており，エコまちステーションではまた違う機能を請け負っている。機能が分担されており良い。

○エコまちステーションが参加するイベント等は，主催者から参加の依頼があるのか。

●イベントの主催者から依頼がある場合やこちらからお願いをする場合もある。

○イベントではアンケートなど取っているのか。集計しているのか。

●エコまちステーションの認知度の項目などのアンケートを行い，集計をしている。

○エコまちステーションは地域に密着した活動をしており、地域からも喜ばれている。

各エコまちステーションでは、地域によってさまざまな活動をしているのか。活動は各エコまちステーションに自由に任されているのか。

●基本的には京都市全体の取組があるが、地域によって特色があり、それぞれ対応をしている。

●中京区にはこどもみらい館があるので、子供向けの古着の交換会を行ったりしている。また左京区のような学生のまちでは、ごみ出しのルールが守られていないこともあるので、マンションの管理人等にごみの出し方のビラを配布している。

エコまちステーションではいろいろな窓口を通じて活動をしており、今後どのような組織を通じて活動を行っていくか試行錯誤しながら行っていくところである。

○エコまちステーションでは地域別にいろいろな活動をされている。また市民に対しては積極的に環境に関する情報を教えてもらえるし、学校や児童館にも足を運んでくれており、地元としてはありがたい。エコまちステーションは、積極的に市民の間に入ってアピールをしている。

京都市ごみ収集業務評価委員会 実地視察（西京まち美化事務所）について

- 1 日 時 平成 25 年 2 月 26 日（火）
午後 1 時 30 分～午後 4 時
- 2 場 所 西京まち美化事務所
- 3 出席者 （敬称略 五十音順）
 委 員 高 橋 宣 勝（市民委員）
 “ 中 島 醇 子（市民委員）
 委員長 本 多 滝 夫（龍谷大学大学院法務研究科教授）
 委 員 松 本 貴美子（市民委員）
 “ 森 岡 隆 司（市民委員）

西京まち美化事務所

板 倉 西京まち美化事務所長
 木 村 業務係長
 松 本 担当係長
 中 村 作業長
 枡 本 治 来（新規採用職員）
 高 木 基 寛（新規採用職員）

北部まち美化事務所

川 妻 北部まち美化事務所長

- 4 内 容 (1) ごみ収集作業視察
(2) 事務所施設内視察
(3) 意見交換

- 5 実施視察での意見（概要）
別紙のとおり

平成25年2月28日

京都市ごみ収集業務評価委員会による実施視察での意見（概要）

1 新規採用職員の仕事ぶり

- (1) 収集作業が丁寧に行われていて、市民への声かけも出来ており、市民が安心してごみを出すことができる。
- (2) 作業は迅速で特に指摘するような状況では無かった。市民アンケートの結果とはギャップがあり、このような状況が市民によく知られていないと感じた。
- (3) 市民への挨拶やカラスネットの整理などきちんとでき、市民との関係も非常に良かった。上司や先輩職員の指導の賜物であると思う。

2 新規採用職員配置による効果

- (1) 新規採用職員が配属されたことで、新しい風が入り、他の職員の自覚が表れている。
- (2) 所属の指導もしっかり行われており、若い職員が順調に育っている。職場の雰囲気も良くなっているようで、先輩職員の自覚も高まり、更に質が高まっていくことを期待できる状況にあり、今回の採用は良かったと思う。

3 総 評

新規採用職員の仕事ぶり及び職場の変化に照らせば、今回の採用については積極的に評価してよい。

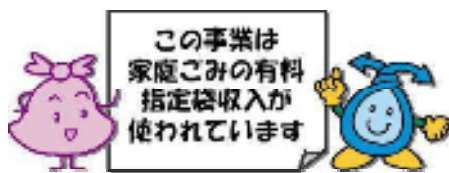
ただし、この評価は今回の採用に関するものであり、人事政策、採用・研修制度も含めて評価したものではない。

平成25年度 京都市予算案 事業概要

環境政策局

事務事業名	包装紙等の雑がみの分別リサイクル拡大に向けた社会実験 ＜有料指定袋制度に伴う財源活用事業＞		
予 算 額	11, 000千円	新規・継続の別	新規
		政策的新規充実予算枠・局配分枠等の別	政策的新規充実予算枠
担 当 課	まち美化推進課(213－4960)		
〔事業実施に至る経過・背景など〕 家庭ごみについては、平成9年度以降減少傾向にあったが、平成23年度に14年ぶりに増加に転じた。平成32年度のごみ量をピーク時の半分以下の39万トンまで削減するためには、これまで以上に家庭ごみ減量の取組を推進する必要がある。 そのため、家庭ごみの約3割を占める「紙ごみ」のうち、家庭でのリサイクルが進んでいない「雑がみ」（包装紙、ビラ、パンフレット、紙箱などのリサイクル可能な汚れていない紙）をターゲットに、モデル地域の世帯を対象とする分別収集の社会実験を実施し、減量効果や分別状況を検証するなど、「雑がみ」の分別、リサイクルの拡大に向けた検討を行う。 〔事業概要〕 (1) 対象世帯 全市で11, 000世帯（各区1, 000世帯程度）を選定する。 (2) 排出及び収集 対象世帯に協力していただき、月2回程度、雑がみを分別し、排出していただき、専用車で収集する。 (3) 検証 収集した雑がみの組成調査及びアンケート調査により、雑がみの減量効果や分別状況等を検証する。 〔事業開始〕 平成25年7月			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

(広報資料)



平成 25 年 2 月 25 日

環 境 政 策 局

担当 循環型社会推進部

まち美化推進課

電話 213-4960

電子版「資源物回収マップ」の運用開始について

京都市では、平成 22 年 3 月策定の「京都市循環型社会推進基本計画」において、「ごみ量をピーク時の半分以下まで減らす」という目標を掲げ、「てんぷら油」など最大 16 品目の資源物について、区役所・支所及び上京リサイクルステーションなどで拠点回収を行っています。

この度、昨年度まで各区役所・支所のエコまちステーションなどで配布していました区・支所ごとの資源物回収マップを一新し、御自宅で簡単に検索していただける電子版の資源物回収拠点検索システム「資源物回収マップ」の運用を開始しますのでお知らせします。

記

1 運用開始日 平成 25 年 2 月 25 日 (月)

2 アドレス http://www5.city.kyoto.jp/shi_gennap/
京都市情報館「ごみ・リサイクルのホームページ」内

3 検索情報

(1) 回収品目 ①てんぷら油 ②蛍光管 ③リユースびん ④乾電池
⑤紙パック ⑥古紙類 ⑦雑がみ ⑧古着類
⑨充電式電池 ⑩ボタン電池 ⑪使い捨てライター ⑫水銀体温計
⑬記憶媒体類 ⑭インクカートリッジ ⑮小型家電類 ⑯刃物類

(2) 回収拠点等 ①市民や事業者の皆様の御協力により設置させていただいている資源物回収拠点
②コミュニティ回収（古紙等の集団回収）登録団体のうち、情報の公開に同意していただいた団体の回収場所の情報
③行政施設に設置している資源物回収拠点
(①, ②, ③合計約 2, 000 箇所)

4 画面イメージ



5 検索方法

- (1) 「行政区」を選択します。
- (2) 「学区」を選択します。
※学区が不明な場合は、**表示**ボタンを選択すると地図上に学区が表示されますので参考にしてください。
- (3) 「カテゴリー」(持ち込みたい資源物)を選択します。
- (4) **検索**ボタンを選択します。
- (5) 地図上に表示されたマークを選択すると回収日時、回収品目などの詳細情報が表示されます。
- (6) 地図の下の「通常印刷」「フルサイズ印刷」を選択すると印刷画面が表示され、印刷できます。

6 お問い合わせ先

京都市環境政策局 まち美化推進課 減量活動支援担当

〒604-0924 京都市中京区河原町通二条下の一之船入町 384 番地

ヤサカ河原町ビル 8 階

電話：075-213-4960 ファックス：075-213-4961

平成24年8月9日

京 都 市 長 様

京都市ごみ収集業務評価委員会

委 員 長 本多 滝夫

平成23年度の業務履行に対する評価・意見書

京都市ごみ収集業務評価委員会は、平成23年12月26日の第6回評価委員会において、平成23年中に実施した「市民アンケート調査結果」及び「市民アンケート結果とセルフチェック結果の比較」などに基づき、平成23年度の業務履行に対する評価を行った。

アンケート調査結果によると、昨年度から評価が向上した項目も多く、取組の効果が表れていると思われる。

しかしながら、「不適正排出物へのシール貼付」については、職員のセルフチェックによる評価が低く、「安全運転の徹底」については、セルフチェック結果とアンケート調査結果に乖離が見られるなど、原因を解明し改善すべき項目もある。これらの項目については、現場と共通認識を持つとともに、改善に向けた取組を進められたい。

以下に、検討の結果、明らかとなった課題に対する意見を付すので、ごみ収集業務の改善に活用するよう努められたい。

意見1：不適正排出物へのシール貼付の徹底とそれに伴う啓発

不適正排出物へのシール貼付は、市民に適正なごみ排出を促すための最も有効な啓発方法の一つであることから、シール貼付地域や枚数などのデータを有効に活用し、効率的かつ効果的な啓発を実施されたい。

意見2：市民に信頼される運転に向けての意識改革

アンケート結果においてはごみ収集車の運転について、スピードの出し過ぎ、無理な車線変更等の運転を見たことがあるという意見が3割あった。一方、セルフチェック結果においては、おおむね安全運転ができているとの自己評価がなされており、市民感覚と乖離が生じている。

ごみ収集車は、収集作業中にエンジン回転数を上げることや、車両の構造上、威圧感があり、自家用車等と比較して、実際の運転よりもスピードが出ている等の印象を持たれやすい。事実、デジタルタコグラフの導入により、スピード超過等は減少している状況にも関わらず、市民から「スピードが出過ぎている」、「乱暴な運転が目立つ」などの意見が依然として多くある。

まず、運転手にこの事実をしっかりと認識してもらうことが必要である。そのうえでアンケート結果を踏まえ、常に市民目線・市民感覚を意識した運転マナー及び移動中の収集員のマナーの向上を図られたい。

意見 3：ごみ減量に関する施策の広報と分別に対する啓発の充実

ごみ減量に関する施策として実施している、「使用済てんぷら油の拠点回収」については概ね市民に認知されてきたが、「コミュニティ回収」や「エコまちステーション」などについてはアンケート調査結果において認知度が低い状況にある。

また、排出した資源物の再利用に関する情報については、アンケート調査においても「知りたい」という声が多数上がっており、市民の分別意識の向上には、より丁寧な説明が必要である。

今後、「ごみ半減目標」の達成に向けては、エコまちステーションや減量指導業務員を中心に、地域状況を把握のうえ、ごみ減量・分別に資する様々なアプローチ方法の検討、地域啓発の充実を図っていくことが必要である。若年層に対しては、ごみ収集に関する意識把握や排出に関する啓発について、一層努められたい。